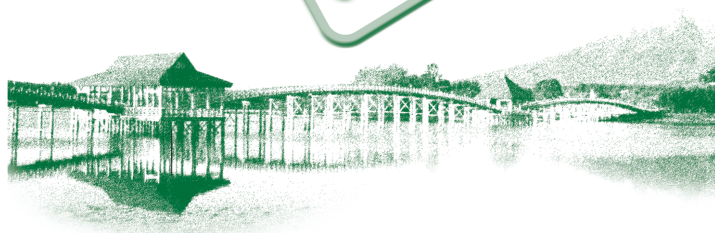


英語に強い子どもを育てて

7月8日（火）、鶴田町建設協会（松山淳会長）の皆さんが町長室を訪れ、町の子どもたちの英語教育へ役立ててほしいと、本やCD、DVDなど英語教材計98点（約20万円相当）を町管内の小学校6校と鶴田中学校へ寄贈しました。

平成18年度に国の英語教育特区認定を受けた当町では、町内の全小学校で1年生から英語教育を実施しています。今回、中学校の英語学習にも小学校の英語学習で使用している教材を参考にし、小中連携で英語の授業を進めてもらいたいということから、中学校へ寄贈の幅を広げることとなりました。

中野町長は「英語に強い子どもが育ち、英語に強い鶴田町となるために英語教材の寄贈は大変ありがたいことです」と感謝をしていました。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までどしどしお知らせください。



△松山会長から中野町長へ目録が手渡されました。

大盛況!! ふえすてまる in つるた

7月12日（土）、町商工会青年部（三浦初裕部長）主催で「ふえすてまる in つるた」が役場駐車場で開かれました。3回目の開催となったイベントでは、子どもから大人まで楽しめるように、フリーマーケットや野菜の詰め放題、ビンゴゲームなどさまざまな催しが企画され、多くの方でにぎわいました。

御所川原囃子心組による演奏後には、商工会青年部員などから提供された約50点の商品のオークションが行われ、参加者たちは、「1000円!」、「1500円!」などと声を張り上げ、お目当ての商品を競り合っていました。家族で訪れた小学校5年生の渋谷寛也くんは「ゲームで金賞が当たった。次も金を当てたい!」と意気込んでいました。



△賞品が当たるパチンコゲームに興味津々な子どもたち

町から交通事故を無くそう

7月16日（水）、町の交通安全決起大会（町交通安全協議会主催）が役場町民プラザで開かれ、関係者や小学生など約300人が参加し、交通ルールの順守と交通マナーの向上を誓いました。

大会で、五所川原警察署の盛田正一署長が「自転車の事故が多発しているので、交通安全を守ってもらいたい」と述べたあと、鶴田町中央保育所園児による鼓笛の演奏に続き、町老人クラブ連合会の乗田勝雄会長と水元中央小学校6年の石村きらさんが交通ルールと交通マナーを守る決意表明をしました。

県警音楽隊とカラーガード隊による演奏と演技のあとには、参加者たちが丹頂大通りを歩き、交通安全を呼び掛けるパレードを行いました。



△プラカードを持ち、交通安全を呼び掛ける参加者の皆さん



△資材を入れたダンボール箱に野菜の切れ端を入れて実演

堆肥作りで生ごみの減量化

町では、家庭から出る燃えるごみの約6割を占める生ごみの減量化を推進しています。今回、ダンボール箱に生ごみを入れて堆肥化する「ダンボールコンポスト」の普及を目指し、その効果を検証しようと、6月から8月までの間、町民の方々を対象としたモニター講習会を開催しています。

7月19日（土）、第2回目の講習会が行われ、6月に開かれた初回講座を受講したモニター12人が参加。家庭で試作したコンポストを持参した参加者たちは、「もったいない・つがるの会」の三國信義講師から、「生ごみの水気はしっかり抜いてから入れて」などと、家庭で手軽にできるダンボールコンポストの作り方について指導を受けていました。

更生保護女性会が20周年

鶴田地区更生保護女性会（松山セツ子会長）が創立20周年を迎え、7月22日（火）、町保健福祉センター「鶴遊館」で記念式典が開かれました。

同会は平成7年4月に結成。現在は70人の会員により、主に非行防止や青少年健全育成の支援活動を行っています。式典では、香淳皇后御歌の斉唱と更生保護女性会綱領唱和のあと、松山会長が「20年を一つの通過点として、また粛々と活動したい」とあいさつ。「素晴らしい足跡を築いてくれた」との中野町長による祝辞に続き、県更生保護女性連盟の神和子会長も式典を祝いました。このほか、青森保護観察所の辻博勝所長が『これからの更生保護女性会に望むこと』のテーマで講演を行いました。



△式典には、弘前や黒石など他地域の更生保護女性会の会員も出席。